

石勝線列車脱線火災事故

【概況】

- 発生日時：2011（平成23）年5月27日（金）21時55分頃
- 場所：石勝線 新夕張駅～占冠駅間（清風山信号場構内）
- 列車：釧路駅発 札幌駅行特急「スーパーおおぞら」14号（6両編成）
- 概要

当該列車が清風山信号場付近を走行中に脱線し、第1ニニウトンネル内に停止後、当該列車から火災が発生しました。

この時、乗務員は避難誘導ができず、お客様ご自身の決断でドアを開け降車し徒歩でトンネル外に避難されました。

この事故により、お客様78名（ほか乗務員1名）を負傷させました。



【原因】

車輪の表面が急ブレーキ等により部分的に摩耗し、円形形状が不整となったため、振動により4両目の減速機を支える吊りピンが脱落。これにより4両目の減速機と推進軸が脱落し後部台車2軸が脱線、脱落した減速機の「かさ歯車」が衝撃したことにより、6両目の燃料タンクが破損。漏れ出した軽油が飛散し、発電機付近で出火したものと考えられます。

【事故後の対策】

マニュアルの制定、見直しと充実

- ・「トンネル内における列車火災時の処置手順」の見直しと充実
- ・現地の判断を最優先とする「緊急時のお客様避難誘導マニュアル」の策定



緊急時のお客様避難誘導マニュアル



救護ワッペン



社員必携



避難誘導に関する改善

- ・トンネル設備の改善 等（照明スイッチ位置標・距離標・出口照明等の設置）
- ・車両設備の改善（車内避難はしご・車内懐中電灯の整備）



照明スイッチ位置標



トンネル距離標



トンネル出口の照明



車内避難はしご



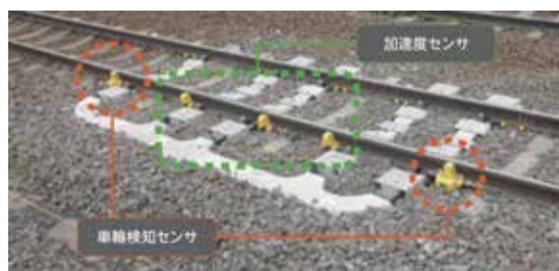
車内懐中電灯

車輪管理の取り組みの強化

- ・車輪踏面の実態に合わせた検査基準の見直しを実施
- ・車輪削正能力の向上のため、在姿車輪旋盤の増設
- ・定期検査を補完する装置として車輪フラット検出装置の設置
- ・メンテナンスに必要な時間を確保するため、「減速」による車両ダメージの低減と「減便」による予備車確保の実施



在姿車輪旋盤



車輪フラット検出装置

教育・訓練の充実

- ・車輪管理にかかわる社員の知識・技能及び理解度向上を図るために教育体制の構築
- ・実車・シミュレータを使用した体験型訓練の実施
- ・「危ないと思ったら列車を止める」ための車掌弁を引く教育・現車訓練の実施
- ・「最悪の場合を想定し自ら判断し行動する」訓練の実施



集合研修の様子



各現場が主体的に行っている避難誘導訓練